

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 群馬局 2024 年度放送番組審議会 議事録

【日 時】 2025 年 3 月 25 日(火) 10 時 00 分～11 時 00 分

【場 所】 株式会社ジェイコム埼玉・東日本 群馬局 2階会議室

<放送番組審議会委員>

ご 出 席 (五十音順)

石 井 學 様	糸 井 義 一 様
大 竹 良 明 様	中 島 慎 太 郎 様
中 村 哲 也 様	深 澤 る み 様

<事業者：株式会社ジェイコム埼玉・東日本 群馬局 >

群 馬 局 局 長	齊 藤 竜 太
同 上 管理部長	高 山 正 一
同 上 アシスタントマネージャー	田 口 望

<事業者：JCOM 株式会社 J:COM プロダクション本部>

(映像制作第一部 埼玉・東日本グループ)

埼玉制作グループ拠点長	千 田 健 二
群馬埼玉エリアニュース担当	塚 越 誠 治

1. 開会 (事務局)

- ・放送番組審議会の概要説明
- ・会長の選任
例年の慣例により、委員会同意のもと、会長に石井委員が就任した。
- ・委員のご紹介
- ・出席者自己紹介
- ・局長の挨拶

2. ㈱ジェイコム埼玉・東日本 群馬局の事業概要説明(齊藤局長)

- ・2024 年度エリア拡大について
- ・2024 年度加入実績状況の報告
- ・サステナビリティ経営方針推進について(本年度の取組と来年度計画)

- ・その他概況

3. 2024 年度のコミュニティチャンネルの方針説明(千田拠点長)

- ・J:COM のコミュニティチャンネルの概要
- ・地域情報番組「ジモトピックス〜ぐんま」・「J:COM 安心安全課」について
- ・2024 度特別番組の取組紹介(祭り・花火・選挙など、34 番組を制作)
- ・テレビ & You Tube どちらでも見られるような視聴環境を目指す。
- ・今後も「地域スポーツ」「地域イベント」「地域の安心・安全」の発信に取り組んでいく。

4. 審議番組の概要について(塚越群馬埼玉エリアニュース担当)

- ・番組のリニューアルについて
(昨今の視聴環境の変化に合わせて 25 分 4 本の話題発信から、14 分 6 本に変更。)
- ・群馬局が参加した「群馬マラソン」、高崎信用金庫協力の「まちかどウォッチング」、「渋川市高校生文化祭」、J:COM 群馬スポンサー「上田絢加選手」の紹介。
- ・特別番組「高崎まつり 花火大会」の紹介。
(白衣観音の視点(肩口)からの撮影、AI のよるナレーション生成など。)

5. 審議 (質疑応答 意見交換)

(石井会長)

審議番組である「ジモトピックス〜ぐんま」について各委員よりご意見をいただきたい。

(大竹委員:サステナビリティ経営に関連した題材の提案)

地元の自分達も知りえない題材を取り上げ、「ど」ローカルな内容が地元目線で大変よい。J:COM 群馬のサステナビリティ経営方針にも関連するが、当社(冬木工業)も SX (Sustainability Transformation)※に取り組んでおり、一般企業や地元の中小企業に「うちの会社も取り組んでみよう!」と波及できれば良いと思っている。自身の発信では限界もある。そこで J:COM 群馬の活動も含め地域の企業の取り組みを取材し「SX チャンネル」のような形で放送すれば、地域の活動の輪が何倍にも広がるので効果的ではないだろうか。

※SX(Sustainability Transformation)の略。企業や組織が持続可能な方法で運営を改善し、持続可能な発展を目指す取り組みのことを指すこと。

花火大会については「現地に行けなかった人向け」の番組と感じた。花火のみの映像(BGM・ナレーション無し)は、その対象には良いかも知れないが、報道番組だとすると、だらだらした映像になってしまっている。また、カメラの視点も複数台あった方がよい。

(中村委員:高崎まつり花火大会)

民放・BS・CS など他の数えきれない番組の中で、地元的话题を取り上げてもらえるのは大変ありがたい。高崎まつり花火大会についてであるが、確認が出来なかったがナレーションはしていたのか？映像を見た限りないように思えた。

コンセプトとしてナレーションが無かったかもしれないが、花火だけの映像より、花火の説明等があれば良かったと思う。

(塚越担当)

ナレーションは事前に決まったものを収録し VTR に合わせて流しているので、現地にアナウンサーはいない。

(中島委員:スポーツの深掘りについて)

番組については細部まで取材をしており面白い。群馬マラソンでは「やります、結果こうでした。」ではなく、途中にどんなことが起きているのか、足湯やボランティア活動などの紹介は見ている側も「参加してみたい」と興味づけられる内容になっていた。深掘りができていて良い。

また、今回の審議番組では地元プロスポーツの結果が流されていなかったが※、勝敗のみならず各チームの順位やコンディション、競技のルールなどの情報が充実すれば、NET で検索は手間がかかるので J:COM の放送で見えるようになり、地元プロスポーツのファンも増えるのではないかな？

花火大会については色々な角度で見たい。視聴者が視点を変える事は可能かな？自宅で見える人が多いので、出来ると良いのではないかな？

(塚越担当)

技術的に可能。過去にカメラのその技術を利用し番組を放送した実績はある。

※他の放送回では試合結果の方法有

(深澤委員:全体を通して他社にはできない細かい視点が良い)

群馬マラソンが今回 34 回目であることはニュースで見たが、ジモトピックスではボランティアが 2,000 人であるとか、温泉がテーマで参加賞が温泉グッズなど、他のメディアでは取り上げてない細かい情報もあり良かった。まちかどウォッチングは、高崎は音楽の街であり楽器店もあり多くない中で、地元の頑張っている企業を紹介してもらえるのは地元としてありがたい。

また、渋川市高校生の文化祭は微笑しく、上田選手の放送も応援したくなる内容であった。地元プロスポーツ情報は試合の日程を表示しているので助かっている。

高崎まつり花火大会は、上から見る花火は見たことがなかったので迫力があつた。今年

は白衣観音から見に行こうと思う。

(糸井委員:リポーター、J:COM の社会活動について)

色々な特集や構成なども良い。相対的には非常に良い。敢えて言うなら群馬マラソンで「ボランティアが充実」との事だが何が充実か深掘りした方が楽しめるのではないかな？

気になったのはナレーションで尻上がりの一本調子でなく、項目の構成に合わせたナレーションにした方が聞き易いと思う。「元気があって良い」との意見があるかも知れないが、構成毎に変えた方が視聴者は聞き易いと思う。

地元プロスポーツ情報は画面に対し文字が小さく勿体無い。空白部分が目立つ。視聴者は高齢者が多いと思うので、一回り文字が大きくても見よいのでは？

また、当社(旅がらす本舗清月堂)は小学校1年生の事故をきっかけに約9年間、毎月1日に警察官と交通安全活動をしたが、地元の皆さんが見て地元の企業にも社会活動が波及していくのではないかと開始した。J:COM 群馬も社会貢献活動を多くしているので、他の会社に活動を広めるためにも、自社の活動を放送しても良いのでは？

その他提案として、地域の皆さんと真剣になって活動している「町の駐在さん」コーナーなども、地域に根差した J:COM 群馬の良さが出て良いのではないかな？

花火大会については上から見られたのが良い。迫力はあったが、もう一か所くらいカメラがあれば良かったと思う。また高崎の花火は一度にスターマインを上げるため、字幕は出しづらいとは思いますが、(字幕もナレーションないため)何か工夫した方が良いと思う。

花火の紹介文で「高崎の夏の風物詩」と「の」が二人あったので一つ取って良いのでは？

(石井会長)

各委員から大変多くの貴重な意見が出された。新しいアイディアで番組づくりを望む。

6. 閉会

(高山管理部長)

本日は各委員から貴重なご意見、ご要望をいただき、来年度に向けて貴重なご意見を活かし良質な番組制作に努力していく所存である。

(事務局)

これにて 2024 年度放送番組審議会を閉会する。

以上